

茂原市地域防災訓練

災害はいつ、どこで起きるかわかりません。いざという時に最善の行動をとるためには、地域住民が自発的に行う防災活動の重要性を認識し、災害時の知識の一つとして習得することが必要です。

そこで、自分の身を守る「自助」と地域で協力して助け合う「共助」を中心とした地域防災訓練を次のとおり行います。

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、内容を変更する場合があります。

◆日時 9月25日⑧ 8時30分～11時頃（雨天決行）

◆対象 茂原地区（下記開設避難所を利用する茂原地区以外の自治会を含む）

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、避難所での訓練は各自治会3人まででお願いします。

◆開設避難所 茂原小学校、東部小学校、茂原高等学校

- ◆訓練内容 午前8時30分に地震が起きたと想定し、
- ①自分の身を守る行動をとる（対象者全員）
 - ②家族の安否や近所の安全を確認後、自治会内で集まり指定避難所へ移動（各自治会3人まで）
 - ③参加者は避難所で備蓄品の設営訓練等を体験



▲住民主体で災害用トイレを設営



▲ダンボールパーティションの広さを確認

問合せ 防災対策課（4階） ☎(36)7580 FAX(20)1602

監査の結果に対する措置

令和3年度に実施した監査結果に基づき講じた措置について、茂原市長から通知がありました。内容は、次のとおりです。

◆監査の種類 定期監査
◆措置年度 令和4年度

〔総務部 総務課〕

〔監査結果〕

●行政のDX（デジタル・トランスフォーメーション）については、市民に分かりづらいものであることから、DXの推進により、何がどう変わっていくのか、どのような影響があるのか、表現方法なども工夫しながら、分かりやすい説明に努められたい。

●行財政改革をより一層推進するため、既存事業についてその効果を検証し、廃止又は縮小も視野に入れ検討することが必要である。幅広い市民要望への対応や行政サービスの向上、職員の業務負担の軽減等様々な角度から検証し適切な判断が必要となることから、全庁的な体制により取り組まれない。また、そのため

の主体となる担当部署を明確にし、計画的な対応を図りたい。（対象課：総務課、職員課、企画政策課、財政課）

〔措置内容〕

●茂原市DX推進基本方針については、自治会回覧、広報紙及びウェブサイトへの掲載等により周知を行った。チラシ等の作成にあたっては専門用語をできるだけ避けるとともに、イラストを多用し、DXによる市民生活の変化が視覚的に確認できるように、分かりやすい説明に努めた。

●既存事業の廃止・縮小については、総務課、職員課、企画政策課及び財政課において協議した結果、企画政策課が主体となり、経常事務事業評価等に基づき進めていくこととなった。

〔総務部 職員課〕

〔監査結果〕

●行財政改革をより一層推進するため、既存事業についてその効果を検証し、廃止又は縮小も視野に入れ検討することが必要である。幅広い市民